

Avastin+ドキシル+カルボプラチン療法 (Day1)【90分】

【婦人科】88-1【卵巣癌】

(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 4週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	22	~28
施行日	/	/	/	/	
アバステン	↓	休薬	↓	休薬	
ドキシル	↓	休薬	休薬	休薬	
カルボプラチン	↓	休薬	休薬	休薬	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順		
①	生食 50mL	10分
②	●アバステン【 】mg 生食 100mL	1時間30分
③	アロカリス注235mg 1V デキサート注1.65mg 2A グラニセトンバッグ 100mL	30分
④	5%ブドウ糖液 100mL	30分
⑤	●ドキシル【 】mg 5%ブドウ糖液 250mL	1時間
⑥	5%ブドウ糖液 100mL	30分
⑦	●カルボプラチン【 】mg 5%ブドウ糖液 250mL	1時間
⑧	生食 50mL	10分フラッシュ

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量	
アバステン	10 mg/kg	mg/Body
ドキシル	30 mg/m ²	mg/Body
カルボプラチン	AUC=5	mg/Body

■注意・確認事項

- 投与中に手首・足首の局所冷却をすること。
- 点滴セットはインラインフィルターを使用しないこと。
- インフュージョンリアクションが現れることがあるので、投与中は患者状態を十分観察すること。
- ドキシルピシン塩酸塩の総投与量が500mg/m²を超えると急性左心室不全が生じる可能性があるため注意すること。
- アバステンは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。
- 2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。
- アバステンとブドウ糖溶液を混合した場合、アバステンの力価の減弱が生じるおそれがあるため、ブドウ糖溶液との混合を避け、アバステンとブドウ糖溶液の同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。

入力 薬剤師	看護師	看護師